

和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”図書交流スペース利用拡充事業

トーク de “りいぶる” を開催します。

ジェンダー平等推進センターでは、性別、性自認及び性的指向にかかわらず、一人一人の人権が尊重され、誰もがその個性と能力を十分発揮できる社会を目指し、様々な取組を行っています。

トーク de “りいぶる”とは、一個人の経験を語り手が話し、参加者（聞き手）がそれに対して質問する形式で行い、参加者自身の自己肯定感を高め、エンパワーメントに寄与するとともに、ジェンダーにとらわれない視点を育むことをねらいとするイベントです。

今回は、狩猟家であり、「女性狩猟会里山アップサイクル」の代表を務めている女性と、社会人になってからうつ病を発病し、10年後に社会復帰をして自分なりのペースの生き方、働き方を模索し、現在も通院しながら、常に新しいことにチャレンジされている男性の2人が語り手となって、参加者と対話します。

◆ 日 時：令和8年11月29日（日）13：30～15：45

◆ 場 所：ジェンダー平等推進センター“りいぶる” 図書・交流スペース

◆ 対 象：関心のある方どなたでも

◆ 定 員：15人程度（先着順・要申込）

◆ 参加費：無料

◆ 申込方法：申込方法：電話、FAX、Eメール、チラシ記載の二次元コードまたは来所にて

※詳細は別添チラシを参照願います。

（連絡先）

ジェンダー平等推進センター 企画課

担 当：奥野

電 話：073-435-5245

トーク de “りいぶる”

11/29 (日)

13:30～15:45

なかなかできない経験をされた方、困難な状況から自分らしい働き方を見つけた方、課題を見つけて自分らしい生き方をされる方など、様々な方のさまざまなお話を直に聴く機会です。

これまでと違う新しい視点が見つかるかもしれませんよ！

会場：和歌山県ジェンダー平等推進センター “りいぶる”

図書・交流スペース（和歌山ビッグ愛9階）

参加費無料

定員：15人程度（先着順・要申込）

対象：関心のある方ならどなたでも



あたたかい
飲み物付き

<ゲスト>

1人目 ^{みぞべ なおこ} 溝部 名緒子さん

（女性狩猟会里山アップサイクル代表）

「私が狩猟家になった^{わけ}理由と、守りたい自然の話」

2人目 ^{かじ のぶひろ} 鍛治 暢宏さん

（うつ病の経験者。現在は ICT 教育支援員。

来春から高校教諭に。）

「うつ病の中で生き方・働き方を見つけた
～教育に救われ、教育を仕事にするまで～」

<タイムスケジュール>

13:30～ スタート

13:35～ 溝部さんのお話

14:15～ 溝部さんへの
質問タイム

14:35～ 10分間休憩

14:45～ 鍛治さんのお話

15:25～ 鍛治さんへの
質問タイム

15:45 終了

★手話・要約筆記★



ご希望の方は、11月13日(金)17時までに
お申し込みください。



★一時保育★

1歳～小学2年生・定員あり・先着順

11月18日(水)17時までにお申し込みください。

★車椅子などのサポートが必要な方は申込時
にお伝えください。

* 申込み後にキャンセルされる場合は、
一時保育を含み、必ずご連絡ください。

【お申込み・お問合せ先】

和歌山県ジェンダー平等推進センター “りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2（和歌山ビッグ愛9階）

TEL:073-435-5245 FAX:073-435-5247

Eメール: libre@sirius.ocn.ne.jp

月曜・祝日を除く9時～21時（日曜は17時30分まで）

■駐車場あり 50分毎100円

お申込みはこちらから

